

環境省・オフセット・クレジット認証運営委員会  
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成22 年10月25日

## オフセット・クレジット(J-VER)プロジェクト登録依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における妥当性確認が終了しましたので、プロジェクト登録を依頼します。

プロジェクト名 <sup>1</sup>			
三田農林株式会社 間伐促進型プロジェクト(岩手県盛岡市)			
【依頼者】 プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)	三田農林株式会社(ミタノウリンカブシキガイシャ)		
住所	岩手県盛岡市中央通一丁目 1 番 23 号		
代表者氏名	三田林太郎	代表者役職	取締役社長
担当者氏名	藤井貴史	担当者 所属部署・役職	山林部
担当者 E-mail	<a href="mailto:nor-fujii@mita-gnet.co.jp">nor-fujii@mita-gnet.co.jp</a>	担当者電話番号	019-624-2120
プロジェクト事業者・プロジェクト参加者			
プロジェクト事業者名	盛岡市森林組合		
プロジェクト参加者名	岩手林業株式会社		
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者			
事業者名(フリガナ)	三田農林株式会社(ミタノウリンカブシキガイシャ)		
	以下のうち当てはまる項目に☑ <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト代表事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト参加者である。 <input type="checkbox"/> その他( )である。		

<sup>1</sup> プロジェクト名は、抽象的な表現を避け、「〇〇県△△事業者による□□(排出削減技術)を用いた温室効果ガス排出削減事業」のように、先にプロジェクト実施場所やプロジェクト事業者名を入れる等により、第三者に事業内容が伝わりやすいものとしてください。但し、事業の愛称やキャッチコピーをサブタイトルとしてつけていただくことは可能です。

プロジェクト情報 <sup>2</sup>																										
プロジェクト概要	<p>(1) プロジェクトの目的・内容</p> <p>① 目的 間伐により残存木の生長を促し温室効果ガス吸収力を高め、温室効果ガス排出量を埋め合わせることができるクレジットを生み出す。</p> <p>② 内容 2008 年度から 2012 年度までに中津川経営区、築川経営区のプロジェクト対象地において、適切な間伐を行う。</p> <p>(2) 適格性基準との整合性</p> <p>① 条件 1 本プロジェクト実施地は、岩手県地域森林計画の対象となる森林である。よって森林法第 5 条に定める森林である。</p> <p>② 条件 2 プロジェクト実施地において行われる施業が、以下の 2 つの条件を満たす間伐である。 ■クレジット発行対象期間内に当該プロジェクト実施地の森林施業計画や森林認証における森林計画書において転用及び主伐が計画されていない。■2007 年 4 月 1 日以降に森林施業計画等に基づき施業(間伐)されたものである。</p> <p>③ 条件 3 プロジェクト実施地が持続的な森林経営の対象地であることが、森林施業計画に基づく森林管理活動を第三者が検証する方法で証明される。市町村等によって森林施業計画の認定を受けている。</p> <p>(3) 法令遵守状況 プロジェクトに関連する法令は下記の通りで、全て遵守している。</p> <p>① 森林・林業基本法 第 9 条森林所有者としての責務</p> <p>② 森林法 第 5 条地域森林計画、第 11 条森林施業計画、第 10 条の 5 市町村森林整備計画</p> <p>(4) 採用技術(プロジェクトで使用する設備・機器等)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>メーカー名</th> <th>耐用年数</th> <th>導入時期</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンパス TRACON S-25</td> <td>(有)牛方商会</td> <td>5 年</td> <td>1985 年</td> <td>面積測量機</td> </tr> <tr> <td>GPS GPS Pathfinder ProXT</td> <td>トリンプル社</td> <td>5 年</td> <td>2009 年</td> <td>面積・位置測定機</td> </tr> <tr> <td>レーザー距離測定器 トゥルーパルス 200</td> <td>レーザーテクノロジー社</td> <td>5 年</td> <td>2009 年</td> <td>樹高測定器</td> </tr> <tr> <td>検測竿 逆目盛検測桿 FT 型 10m</td> <td>宣真工業</td> <td>5 年</td> <td>2009 年</td> <td>樹高測定器</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) モニタリング方法</p> <p>①測定機器の点検②活動量のモニタリング③吸収・排出係数のモニタリング(地位の特定、幹材積成長量の読み取り、拡大係数の特定)④プロジェクト対象</p>	機器名	メーカー名	耐用年数	導入時期	備考	コンパス TRACON S-25	(有)牛方商会	5 年	1985 年	面積測量機	GPS GPS Pathfinder ProXT	トリンプル社	5 年	2009 年	面積・位置測定機	レーザー距離測定器 トゥルーパルス 200	レーザーテクノロジー社	5 年	2009 年	樹高測定器	検測竿 逆目盛検測桿 FT 型 10m	宣真工業	5 年	2009 年	樹高測定器
機器名	メーカー名	耐用年数	導入時期	備考																						
コンパス TRACON S-25	(有)牛方商会	5 年	1985 年	面積測量機																						
GPS GPS Pathfinder ProXT	トリンプル社	5 年	2009 年	面積・位置測定機																						
レーザー距離測定器 トゥルーパルス 200	レーザーテクノロジー社	5 年	2009 年	樹高測定器																						
検測竿 逆目盛検測桿 FT 型 10m	宣真工業	5 年	2009 年	樹高測定器																						

<sup>2</sup> プロジェクト情報は、プロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG 算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA/QC 体制等に関することを 2 ページ以内で記述してください。

	<p>森林の写真撮影⑤モニタリング結果の集計・算定⑥モニタリング報告書の作成</p> <p>(6) GHG 算定式の方法論への準拠性 GHG 算定式に使用するパラメータとその準拠性を示す。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① AreaForest<sub>i</sub> 実測値を使用する。</li><li>② <math>\Delta</math>TrunkSC<sub>i</sub> 文献・資料に基づく方法による。「岩手県民有林スギ林分材積表」を使用し、幹材積の年間成長量を読み取る。</li><li>③ BEFi、WDi、CF、Rratio<sub>i</sub> 公表資料「京都議定書 3 条 3 及び 4 の下での LULUCF 活動の補足情報に関する報告書」の数値を用いる。</li></ul> <p>(7) モニタリング体制</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① J-VER プロジェクト担当者 (三田農林(株)山林部員)は吸収量算定担当者 (三田農林(株)取締役山林部主任・山林部員)、内部監査員 (岩手林業(株)常務取締役他)に対し教育・訓練を行う。</li><li>② 吸収量算定担当者 2 名が測定機器の点検、現地調査、吸収量の算定、モニタリング報告書の作成を行う。</li><li>③ 吸収量算定担当者 1 名がデータ確認、報告書精査を行い承認する。</li><li>④ 吸収量算定確認者(三田農林(株)取締役支配人)及び吸収量算定責任者 (三田農林(株)取締役社長)が報告書精査を行い、承認する。</li><li>⑤ 内部監査員は吸収量算定担当者に対し監査を行い、吸収量算定責任者に監査報告書を提出する。</li></ul> <p>(8) QA / QC 体制</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 内部監査 モニタリング報告書作成時・作成ごとに行う。内容は方法論・ガイドライン準拠の適合性確認、測定記録・算定結果のサンプリング調査、モニタリング体制の確認、是正措置とする。</li><li>② 教育訓練 内容はモニタリング手順、吸収量算定方法、モニタリング報告書記載方法、測定の訓練とする。</li><li>③ 情報管理 三田農林(株)山林部が永久保管する。電子情報は担当者端末、サーバー及び電子媒体に保管管理する。印刷してファイルにも保管する。</li><li>④ データ確認 三田農林(株)取締役山林部主任が行う。内容は野外調査表と算定ファイルの突き合わせ、吸収量算定の確認、係数等の妥当性の確認、他の関係データとの比較とし、以上の項目を 2 時間以上の間隔においてダブルチェックする。</li><li>⑤ 測定機器の維持管理 三田農林(株)山林部がモニタリング実施前にコンパス、GPS、レーザー距離測定器について点検する。</li></ul>
--	---

プロジェクト実施場所	(1) 中津川経営区 岩手県盛岡市浅岸字下大葛 57-1、57-3、57-7、57-20 岩手県盛岡市浅岸字上大葛 66-3、66-7 (2) 築川経営区 岩手県盛岡市川目字舂沢 115-3、115-12、115-14、115-19、115-21						
プロジェクト期間	2008 年 4 月 1 日 ~ 2013 年 3 月 31 日 ( 5 年 0 ヶ月 )						
クレジット期間	2008 年 4 月 1 日 ~ 2013 年 3 月 31 日						
プロジェクト計画開始届提出日	2010 年 9 月 24 日						
妥当性確認終了日	2010 年 10 月 12 日						
想定削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	105	108	178	177	175	744 (合計は四捨五入による差が生じている)
適用実施規則	オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則 ver. 2.2						
適用モニタリング方法ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドライン (森林管理プロジェクト用) ver.1.7						
適用方法論	方法論番号	R001ver.3.0					
	方法論名称	森林経営活動による CO2 吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)					
<b>ダブルカウントの防止措置</b>							
ダブルカウントの防止の措置を講ずる事業者	プロジェクト代表事業者と同一。						印
公的な報告・公表制度(判明している公的制度)	該当なし。						
自主的な報告・公表対象(対象となるホームページ、環境報告書等)	自社ホームページに掲載。						
<b>備考欄</b>							

以上